

# 平成26年度市政懇談会会議録

開催日時：平成26年5月19日（月） 午後7時～午後7時40分

開催場所：緋の郷円形交流館多目的ホール

参加者：137人（男性128人、女性9人）

市側出席者：五十嵐市長、吉田副市長、徳江教育長

横澤総務部長、茂木企画部長、佐藤財政部長、細井市民部長、須賀環境部長、

多賀谷健康推進部長、福田福祉部長、金子経済部長、金井建設部長、

太田都市計画部長、岡部中心市街地整備部長、田島公営事業部長、

要田水道局長、吉田消防長、吉澤経営企画部長（市民病院）、大工原会計管理者、

三友議会事務局長、津久井監査委員事務局長、越須賀教育部長

- 1 開 会 司会進行（企画調整課長）
- 2 特別職の紹介・市職員（全部長職）の紹介
- 3 市長あいさつ

皆様こんばんは。市長の五十嵐でございます。本日は、夜分にもかかわらず、皆様には大変お疲れのところ、また、お忙しい中と存じますが、平成26年度市政懇談会に御出席いただきまして誠にありがとうございます。

この市政懇談会は、年度当初のこの時期に市が取組む主な事業等を御報告させていただくとともに、市の取組みについて、または、市政全般について、皆様から御意見等を伺って、今後の市政運営に反映していこうという趣旨のものでございます。

時間も限られておりますので、早速でございますが、御報告をさせていただきます。全体を通して概ね1時間ということでございますが、私のほうから30分ほど時間をいただきまして、御報告をさせていただきたいと思っております。

よろしくお願いを申し上げます。

- 4 重点政策の概容
  - (1) 平成26年度重点政策について <市長説明>
  - (2) 質疑応答 <特別職及び全部長職> (7:38~)
  - (3)

## ◆質問者なし

## ◇市長あいさつ

本日は皆様には大変お忙しいところ、またお疲れのなかを、夜分お運びをいただいて、御静聴いただきまして、本当にありがとうございました。

皆様、既に御承知のことと存じますが、先日の新聞で、人口問題に係る国の有識者会議である日本創生会議が、若年女性人口の試算から2040年の自治体の姿を発表していました。それによりますと、群馬県は、非常にショッキングな数字が出ており、大都

市への人口流出が現在のペースで続けば、県内35市町村のうち、20市町村が消滅する可能性があるというデータが発表されました。このような人口推計の中において、本市は、お陰様で直近の国勢調査では群馬県内12市のうち人口増加率がトップという結果となっています。

また、先ほども御報告させていただきましたが、これから工業団地造成や区画整理事業などにより、市民の皆様の働く場所の確保や住環境の整備を進めるとともに、保育園、幼稚園等の子育て環境整備、あるいはまた、小中学校等の教育環境の整備を進めていくことが重要であると考えています。

子供を産み育てるなら伊勢崎市、また、将来にわたって住み続けるなら伊勢崎市と思っていただけるような街づくりを進めていくことで、30年経っても、40年経っても決して人口が減らない都市になると考えています。そういった元気のある伊勢崎市を目指しておりますので、宜しくお願いを申し上げます。

なお、本日この場では、御質問等がございましたが、いつでも結構ですから何かありましたら、遠慮なく市へお話いただければと思っています。

皆様に御協力をいただきまして、本年も、もっと元気で、豊かで、安全な伊勢崎市を目指してまいりますので、引き続き、よろしくお願いを申し上げます。

本日は、本当にありがとうございました。